

《2007年2月例会報告》

【日 時】2007年2月24日（土）18：00～24：10（終電ぎりぎり？）

【会 場】サッカー居酒屋「いなば」

渋谷区桜丘町24-18 東松ビル2F・・・JR渋谷駅南口から3～5分 TEL 03-3496-3897

【テーマ】サロン2002の10年間を振り返る②ーサロン10周年記念パーティー

【参加者（会員）】麻生征宏（保健体育関連編集者） 安藤裕一（バルバロスOB, 筑波大学ハンドボール部OB） 浦和 俊介（株式会社フォーレックス） 笠野英弘（筑波大学蹴球部OB） 川井寿裕 木口理恵（学習院女子中・高等科） 岸卓巨（中央大学） 嶋崎雅規（帝京中学・高等学校） 高田敏志（町田高ヶ坂サッカークラブ） 田中俊也（富士市・三日市整形外科） 田中理恵（アマチュアカメラマン） 茅野英一（NPO法人かながわクラブ） 徳田仁（㈱セリエ） 中塚義実（筑波大学附属高校） 中村敬（墨田区・緑VSCコーチ） 藤田捨人 松下潤（つくばFC） 室田真人（NPO法人九曜クラブ／中央大学） 両角晶仁（totoプロデューサー） 依藤正次（NPO法人横浜スポーツコミュニケーションズ）

【参加者（未会員）】阿部博一 加藤政夫（学習院男子部・女子部講師） 矢川渉（暁星中サッカー部顧問） 北村 二郎・高瀬学・仲西裕行（㈱セリエ）

【報告書作成者】中塚義実、徳田仁

注）参加者は所属や肩書を離れた個人の責任でこの会に参加しています。括弧内の肩書きはあくまでもコミュニケーションを促進するため便宜的に書き記したものであり、参加者の立場を規定するものではありません。

サロン10周年記念パーティー

ーサロン2002の10年間を振り返る②ー

■準備

「10周年記念パーティー」は、2005年3月の「月例会100回記念パーティー」の頃からイメージされていた。5月の総会では、「3月末に、10周年記念のミニシンポみたいなのをやると良いのではないでしょうか」（2006年度総会議事録・中塚発言より）というように、当初は年度末開催の予定だった。公開シンポジウムが3月にずれ込んだこともあり、またゼロックススーパーサッカー（於国立競技場）の開催日に合わせることで、観戦とセットで楽しめるのではないかということで、2月24日に決まり、幹事のT氏のはからいで、サッカー居酒屋「いなば」で行うことになった。

告知と募集を開始したのは1月23日（サロン通信2月号／出欠連絡の期限は1月末）。翌1月24日には特設HPを開設し、参加申込状況の把握を開始した。

開催前日までに21名（うち会員18名）の方から出席の、40名の方からは欠席の連絡をいただいた。未定との返事の2名を加えても、総会員数130余名中、約半分からしか回答がなかったのは残念だった。最終的には、未定だった1名が当日参加可能となり、飛び入りの3名とパーティーの解散間際に駆けつけてくれた1名を含めると計26名の参加となったが、参加者数の把握が遅れ、会場の手配（貸切にするか否かや料理のオーダー）・イベントの企画には苦勞することになった。レスポンスが悪かった

のは通常の月例会と同じく、参加するときだけ連絡すればよいと思っている人が多かったからなのだろうか？（本当は通常の月例会も欠席連絡がほしいのだが…）。

それでもさすがサロン会員。「プレゼント交換」や「ゲーム大会」「ビデオ上映」の企画アイデアが出た。その後の詰めを怠ったにもかかわらず、参加者はそれぞれが「お宝グッズ（単にいらなくなったもの(?)もあった)」やB G Vもあり、雰囲気は良好。静かに立ち上がり、にぎやかに盛り上がった。

■ウォーミングアップと自己紹介

18 時開演と言っても、定刻に全員が集まるのは難しい。この日も、国立競技場での浦和レッズ vs ガンバ大阪の観戦だけでなく、「サッカードクターセミナー」や「レフェリー研修会」、あるいは「土曜出勤で仕事」と、それぞれが活動しての 18 時である。来た人からビールと“ウーロン茶”で小さな乾杯をしつつ、「ウォーミングアップ」が始まった。

ここで重要なのは、アップしすぎで試合前に力尽きることをないようにすることである。その危険性があったのはN氏だが、持病の通風発作（親指が腫れて痛い。この日は回復していたが、1ヶ月の禁酒中）のためウーロン茶。他の方もそれぞれのペースで気分よく飲み、語り合った。

前日までギプス固定で、この日も足首をがっちり固定して杖をつけて神奈川県からやって来たC氏は、「飲めば治る」と、よいペースであった。

19:00 過ぎ、参加予定者がほぼそろったところで、幹事役のT氏の進行でパーティが始まった。

ネットで広がるサロンのコミュニティ。名前は聞いたことがあるけど会ったことがない人が結構多い。そこで正式な乾杯の前に、まずは一通り自己紹介することになった。それぞれが何をやっているのか、サロンとのかかわりは、サッカー・スポーツとの関わり方は…。つくづく「おもしろい人の集まりやなあ」と思うひとときである。

自己紹介は、理事長によるサロンの紹介・10年間のあゆみで締めくくられた。概要を次に示す。

■サロン 10 周年にあたって（理事長スピーチ）

組織としての「サロン 2002」は、理事長の人格とダブらせて語られることが多いが、個人的には「サロン 2002」という“奴”は、理事長の人格とは別個の、独立した存在であると考えている。今日はみんなと一緒に、10歳になった「サロン 2002」に「おめでとう！」を言いたい。

サロンの前身は、日本サッカー協会科学委員会の子グループであった「社・心グループ」である。研究者の集まりに過ぎなかったこの勉強会が変化していくのは、大きく分けて2つの要因があったと考える。

一つ目は、80年代後半あたりからサッカーがこの国で市民権を得て、ものすごく盛んになったことである。それは、「Jリーグ」の誕生と「2002年 FIFA ワールドカップ」への取り組みに代表されるサッカー環境の劇的な変化である。これにより、今まで選手と指導者、そして一部の研究者しか関心が持たれなかったサッカーに、多くの人がかかわるようになり、社・心グループの研究会に様々な分野の人が来るようになった。この傾向は今日も続いている。

もう一つは、電子メールやインターネットといったITの格段の進歩である。葉書や手紙でしか案内を出せないような状況であったなら、ここまで広がらなかつただろうし、続かなかつただろう。メールで一気に配信でき、ネット上で全国各地の人がつながっていくようになって、サロンのネットワークは確立し、維持されてきた。このことは非常に大きい。

ついでに言うと、ネット空間のコミュニケーションだけでは不十分である。サロンのメンバーは飲み好き（もしくは飲み会好き）、人好きな人が多く、月例会後の「カリンカ」や「ルン」での濃い話は貴重であった。ネット空間だけでなく、「ネットワークをフットワークにつなげる」人たちによって築

かれたコミュニティであり、気がつけば10年経過した。

サロンの今後について、課題はいくつかあるが、ここでは3点指摘したい。

まずは「組織のあり方」の問題。NPO法ができる前から法人化の話が出ていたが、一方で「ゆるやかなネットワーク」の良さは捨てられない。引き続き検討していくが、社会に対して発言し、行動していくためにも法人化の方向性は視野に入れておく必要があるだろう。

次に、「サッカーから他のスポーツへ」。サッカー関係者で始まったサロンであるが、ラグビーやハンドボールに深く携わる人もいる。そもそも「サッカー・スポーツを通して～」を謳っているサロンの次の10年は、様々な種目への展開、「総合型サロン」への発展である。これが2つ目の課題である。サッカー以外の様々なスポーツへの展開だけでなく、美術や音楽、すまいや環境など「ゆたかなくらしづくり」に関する分野と連携していきたい（この部分は当日話し損なったので付け加えています）。

3つ目の課題は、早急に解決せねばならない課題、「女性会員を増やす」ことである。この場においても男ばかりで、女性はKさんだけ（Tさんは遅れての登場であった）。これはあまりにもアンバランス。女性会員にがんばっていただくとともに、男どももしっかりしよう！

このようなサロンの10周年を祝って、カンパ～イ。

■プレゼント交換：ジャンケン大会

しばらくの懇談の後、特別企画「参加者持ち寄り賞品争奪・じゃんけん大会」の時間となった。集まった「お宝グッズ(?)」には、つい数時間前に国立競技場でゲットしてきたばかりのスタジアム用・オフィシャル毛布から、ドイツ・ワールドカップのオフィシャルマガジンやプログラム。予選のときに配られた日本代表の応援フラッグや2007年度カレンダーまで多種多様の合計21点。気に入った景品にエントリーし、エントリーが複数出た場合には、T・Rさんとじゃんけんし、勝った人が獲得できるというものである。T・Rさんのじゃんけんに撃沈されていく男どもの姿は、女性優位（少ないにもかかわらず存在感が強い）のサロンの現状を示しているように思えた。

出張サロンinフランクフルトの際、パブリックビューイング会場周辺でオランダ人が配布していたオレンジ色の帽子は、所持者のNにとっては「いらなくなったもの」であったが、下町のN氏にとってはどうしてもほしいものであったらしい。勇んでエントリーし、無勝負でゲットした。彼は喜んでかぶっていた。ぜひ下町をオランダ帽子で練り歩いていただきたい。

最後に、参加者一人ひとりに、90年イタリア大会のポストカードが配られた。実はこれが一番の景品だったかも知れない。今回、T氏の紹介（「クロスポ」つながりで、サロン関西にて初めて直接話をただけだというが）で参加されたA氏の提供によるポストカードは「お宝」と呼ぶにふさわしいものであった。特に「ソ連」「チェコスロバキア」「ユーゴスラビア」のポストカードは、それらの国がすでに存在しないいま、本当に貴重である。

■サッカー居酒屋「いなば」とBGV

会場となったサッカー居酒屋「いなば」は、サッカーファンにはたまらない空間である。そこらじゅうに「お宝グッズ」が並んでおり、今はなきサッカー雑誌『イレブン』もずらっとそろっている。もちろんテレビも置いてあり、この日はNが持参したマニアックな映像をBGVとして流してもらった。酒が入って酔っぱらってきた人々も、ときどきちらちらと見てはうんちくをたれているのが面白かった。報告者でもあるNは、ウーロン茶を飲みながら「懐かしいなあ」と思いながら、話の合間にちらちらと映像を見て過ごしていた。

流れていた映像は次の通りである。

- ・1974年ワールドカップのダイジェスト映像

- ・1994年アメリカ大会アジア最終予選から、日本 vs 韓国のダイジェスト
- ・同、日本 vs イラクのダイジェスト
- ・1982年スペイン大会準決勝、西ドイツ vs フランス
- ・1974年西ドイツ大会、オランダ vs ブラジル
- ・ブラジル代表の歴史（1930年から）

11時過ぎの中締め後は、「いなば」のマスターも交えて盛り上がり、気がつけば12時を回っていた。ゆたかなひとときであった。

■参加者からのコメント

◆中塚義実

サロンよ、10周年おめでとう！

サロン2002とともに歩んだ10年間（以上）は、日本のサッカー・スポーツ界の激動期であったと言えるでしょう。本当にいろんなことがありました。月例会で取り上げた内容ーJリーグやワールドカップだけでなく、地域リーグ、ユースリーグ、フットサル、toto等々ーは、そのまま日本のサッカー・スポーツの現代史を反映するものですし、サロンの進化・発展の過程そのものに、新しいネットワーク、これからのコミュニティのあり方がみえてきます。何と云ってもそこに集う人々が面白い！いつもパワーを与えてもらっています。これからもこのネットワークを大事にしていきたいと思いません。

サロン10周年パーティも、貴重な経験でした。この記念すべき日を、「酒も飲まずに6時間、そして終電」という、まるで「らしくない」過ごし方をする事になったのはまったく不本意ではありませんが、これはこれで意外に面白かったですね。何と云っても翌日になっても記憶が鮮明というのがすごい！

けどやっぱり、思い切り汗をかき、たっぷり温泉につかって、思い切りビール（これが痛風には最も良くないパターンらしいですが）という至福のときは捨てられません。バレンタインデー（2/14）からホワイトデー（3/14）の17時（勝手に決めているだけです）まで、1ヶ月の禁酒期間が過ぎるのを心待ちにしている今日この頃です。

3月のシンポジウムは月例会125回記念です。盛大にやりましょう。

これからもよろしくお願いします！

◆浦和俊介

サロン10周年おめでとうございます。自分は今は開店休業になっているサロンド東海にもともと参加していて縁あってサロン2002にも顔を出すようになったのですが、各地方でもサロンのような開かれた情報流通の場が増えていくことを願います。今後は多少終電が遅いところに引っ越せそうなので月例会にも参加できればと考えています。

◆嶋崎雅規

サロン10周年おめでとうございます。

サッカーとは何の関係もない（サッカー名門校に勤務している？）私が、「サロン2002」に参加させていただくようになって、何年が過ぎたでしょうか？月例会には、年に1~2回しか参加していない不真面目な会員ですが、参加するたびに何かをもらって帰っています。特に、終わったあとの「ルン」での話がまた面白く、ここまで参加しないと「サロン」に参加した意味はないといっても過言ではないでしょう。

そんなアフターサロンを凝縮したのが、10周年パーティーだったように思います。普段より参加者

が多い分、いろいろな方とお話でき、より有意義な会だったと思います。たまには早い時間から飲むというのもいいですね。

当方、みなさんになかなか give できるものがなく、いつもパワーを与えてもらうばかりですが、今後ともよろしく願い申し上げます。

◆両角晶仁

サロン 10 周年おめでとうございます。

そして幹事長の徳田さんをはじめお宝を供出してくださった皆様、ありがとうございました。

訳あって（もちろん自分のミスです）サロン通信が 10 か月間届かず、しかも、理事長に何か事情があって月例会を中止していると勝手に解釈して、心配しつつもこちらから連絡を取りませんでした。MLは、ずっと、ちゃんと届いていたのですが……

2月2日の徳田さんのMLへの投稿（パーティーの出欠の督促状）で“これはやっぱりおかしい”と気づき、K氏に連絡。サロン通信も復活しました。10周年はもちろんめでたいのですが、サロン通信が復活したことがなによりです。また月例会に参加できます。

無類の強さを発揮したジャンケンの女神Tさん、お疲れ様でした。ご自身がゲットしたいお宝の時だけあっさりと負けてしまいましたね。追加で確保できてよかったです。それにしても、いい歳の大人がジャンケンであんなに熱くなれるなんて……と言いつつ、私自身が4度もトライしたのであります。そうそう、忘れないようにあと二つ。一つは、3年前の「月例会 100 回記念（@六本木）」を 10 周年だったと勘違いしていたのは私だけではなかったこと。もう一つは、「20 周年記念は妻（夫）同伴で」と提案したら、理事長が頷いていました（笑）。次はサロン 150 回記念ですね！（おわり）

◆室田真人

サロン 10 周年おめでとうございます。

私のサロン定例会参加はサロン 100 回記念パーティーに始まり、今回の 10 周年パーティーまで take ばかりをしていただいております。ただのサッカーコーチ&学生の私が、「年齢や性別、職業や専門分野を越えて集まった」メンバーの中に入れていただき、非常に心地よく、かつ刺激的に多くのことを学ばせてもらっております。

次の 15 周年、20 周年へ向けて、多少なりとも give ができるように努力していきたいと思っております。ただ、しばらくは take ばかりしていただくことをお許し下さい。今後ともよろしく願い致します。

◆木口理恵

次の 10 年に向けて、素晴らしい出発となったのではないのでしょうか。

『10 周年記念パーティー』、活気、熱気、そして酒気、たくさんの“パワー「気」”に満ちた空間で、本気だけれどどこか無邪気な皆様と再出発を祝えたこと、大変嬉しく光栄に思っています。自身にとっては、『10』ヶ月記念パーティー、改めて「サロン 2002」について考える好機となりました。

—サロンとは実際どのような集団で、活躍の舞台は様々である会員の皆さんのつながりは一体何なのだろう—

当日を振り返ってみると、私は友人や生徒と話をしている際頻りに「ごめん、またスポーツの話になってしまうのだけれど。」という断り文句を使いますが、サロンの会話では不用だったこと気づきます。また「スポーツはこれから……」「サッカーはこれから……」という会話がとても多く、それを逃さないように、目・耳をいっぱい使っていた自分がそこには居ました。そして単なるスポーツ○○ではなく、皆さんが心の底から「スポーツ」の発展を熱望していることを感じるひと時でした。

「スポーツを楽しむ、そして盛り上げる。」と志を同じくした、好奇心の塊の集い。一見何のつながりのない多くの人たちが「スポーツ」で結ばれ、折に触れて互いの顔や言葉、この空間を思い出し、

お互いがお互いの情報・存在を求め、認め、高めあっている、素敵なお仲間。

これが私なりの答えです。

会員歴 10 ヶ月の未熟者ですが、発足から 10 年経った今も変わらない熱き思いが存在することを体感させて頂きました。そしてパーティーでは皆さんにたくさんのパワーを頂き、心から感謝しています。ありがとうございました。サロンの更なる隆盛の一助になりたいと感じ、まずは女性の仲間を探したいと思っています！

最後になりましたが、設立 10 周年、本当におめでとうございます。

◆茅野英一

サロン 10 周年おめでとうございます。

この 10 年の道のりの途中で、横浜から参加させていただいております。この間、横浜から遠いことを言い訳にして、月例会へは数えるほどしか参加できなかった会員ですが、大変楽しく刺激に満ちたサロンの活動だったと思っております。一つには、このサロンに集まる会員の皆さんが年齢も職業も多様で、様々なバックボーンをお持ちのいわゆる多士済々の集まりであること、二つには、いつもサロン活動の中心にあって、サロンをまとめていただいている中塚さんほかのコアのメンバーの皆さんの尽力があったからこそであると思います。とりわけ、月例会に参加できない各地の会員にレポートがすばやく届けられること、これが大変素晴らしいことであり、このレポートがあるからこそ遠隔地の会員が会員であり続けられるのだと思います。（その意味では、すぐに HP にアップすることはよいのかどうか。）

次の 10 年が始まりました。ますます刺激的なサロンでありますように。私も GIVE できるよう頑張らねばと今日は書いておきます。